

**ITS情報通信システム推進会議
路側通信システム専門委員会
19年度活動報告および20年度活動方針**

**平成20年5月
路側通信システム専門委員会**

H19年度は以下の体制で活動

路側通信システム専門委員会

専門委員長:宮島 耕治(NTTデータ)

DSRC規格TF

主査:柳内 洋一(日本電気)

DSRC国際対応TF

主査:小山 敏(日立製作所)

DSRC基本アプリケーションインタフェース検討WG

※休会中

主査:中間 保利(松下電器産業)

(追加検討依頼に応じて活動)

- ・次世代道路サービスシステムに関する官民共同研究の内容等を参考に、規格の改定案作成作業を実施。
- ・改定案はARIB規格会議で承認され、正式に改定。

(1) 標準化活動

- ・ARIB STD-T75 ver.1.4版への改定案作成
- ・ARIB TR-T16 ver.1.4版への改定案作成

➡ 主な変更点

- ・同報通信方式及び単信方式を追加する省令改正に伴う規定の変更
- ・QPSK方式の変調精度とダイナミックレンジ、基地局アンテナの偏波に関する規定の変更

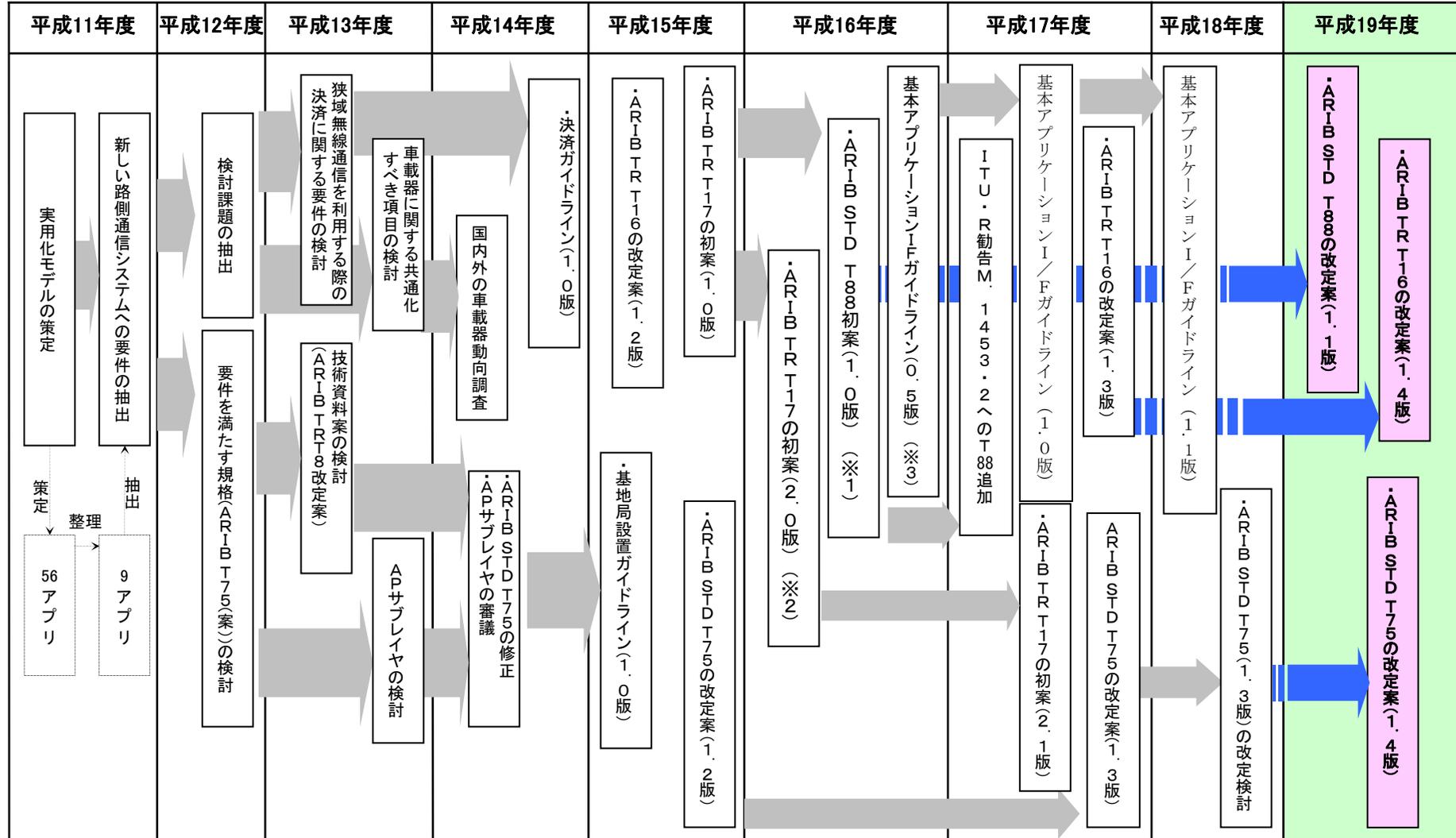
- ・ARIB STD-T88 ver.1.1版への改定案作成

➡ 主な変更点

- 官民連携実験、大量バルク転送、誤り検査機能追加に関する規定の変更

主要標準化検討内容

DSRC規格TF



※1:ITU-R SG8へ提案、勧告化へ ※2:規格部分を除いたもの
 ※3:外部連携により設置

DSRC等応用サービス普及促進委員会など外部の会合に専門委員会を代表して参加するなど、精力的に実用化を目指した。

(2) 普及促進活動

- DSRC等応用サービス普及促進委員会のメンバとして参加
- 外部連携にも積極的に尽力
- DSRCへの理解を深める貢献を通じて普及促進を図った。

(3) 新技術の検討

- DSRC国際TFと連携を取り、海外動向について状況の紹介を実施

継続的に欧米およびアジア圏でのITS関係者と意見交換を行い、本邦技術のアピールを行うとともに、諸国の状況や課題など情報収集を実施した。

(1) 標準化活動

- ・前年度と同じく、ITU-R SG5 WP5Aを中心とするITS情報通信システムに関する国際標準化活動に積極的に参加。

(2) 情報交換・動向調査活動

- ・**アジア・太平洋電気通信標準化機関 (APT Standardization Program: ASTAP)**
 - 平成10年にアジア太平洋電気通信共同体にASTAPが創設されて以来、日本からDSRC国際対応TFの専門家がITS Expert Group (ITS EG) の議長を務め、アジア・太平洋の各国、地域に向けてITS標準化や最新のITS進展状況を報告。
- ・**DSRC/WAVE標準**
 - 米国5.9GHz DSRC/WAVE標準に関するIEEE802.11 WGやIEEE P1609WGの会合やインターネットを通じた議論や情報交換に積極的に参加
 - 海外の情報収集と共に我が国におけるDSRC関連情報の提供を実施

(2) 情報交換・動向調査活動 (cont.)

・ITS関連国際会議

- 第16回ITSアメリカ年次大会 (Palm Springs, CA, US)
- ITS Telecommunications (ITST 2007) (Sophia Antipolis, France)
- 第1回Wireless Vehicular Communications (WiVEC) (Baltimore, MD, US)
- 第14回ITS世界会議 (北京)

上記会議に、DSRC国際対応TFから関係者が参加し、各国の専門家との情報交換などを通じて国際交流を促進した。

(3) 他との連携、普及促進

- ・DSRC国際対応TFは世界各国とのITS情報通信システムを通じた協調活動を行うことを目的に、DSRC国際対応TF発足以来、計95回の会合を開催。
- ・国内では海外からの情報の分析、ITS情報通信システム推進会議では路側通信システム専門委員会ではDSRC規格TF、車々間通信システム専門委員会ではVSC TG、ISO/TC204の関連Working Groupとのリエゾンを行う等、日本DSRC規格の海外展開の為に活動を実施。

H20年度活動方針



両TFを軸に、これまでと同様実用化に向けた普及推進活動を継続しながら、DSRCのマルチアプリケーションのプロモーションや新方式の調査研究を中心に活動していく。

DSRC規格TF

- DSRC関連規格や基地局設置ガイドライン等の技術相談窓口を設置等、外部連携・支援
- ARIB STD-T75 ver.1.4およびARIB STD-T88 ver.1.1の改版等、規格改定の検討
- 現状のDSRCと親和性がある大容量無線通信方式等、現状規格への追加・変更の検討
- DSRCを含んだマルチメディア通信(携帯電話、無線LAN、地上波デジタルなど)に係る新方式の検討
- 車々間通信方式との共存・併用の検討

DSRC国際対応TF

- ITU-R SG5 WP5A及びASTAP ITS専門家会議におけるDSRC国際標準化と普及に関する活動
- ARIB STD-T75とT88を用いたDSRCマルチアプリケーションに関する国際的なプロモーション
- 車々間通信システム専門委員会 VSC TGとのリエゾン関係によるVSCに関する国際協調活動
- アジア・太平洋地域及び欧米を中心としたDSRCに関する国際協調及び関連情報収集活動

DSRC基本アプリケーションインタフェース検討WG

⇒引続き、今後の追加検討依頼に備えて、休会とする。